

2024 年度

第 19 回「長野県高校生 英語スピーチ・レシテーション コンテスト」実施要領

目的： 高校生の英語学習への動機を高め、広い地域に及ぶ高校生が互いの体験、考えや心情を英語で発表しあう機会と場を提供することにより、高等学校英語教育の目標の一つである「英語による表現力」の育成を支援する。

主催： 清泉女学院大学・清泉女学院短期大学

後援（予定）： 長野県、長野県教育委員会、信濃毎日新聞社、NHK 長野放送局、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、信濃教育会

日時*： 2024 年 11 月 9 日（土） 13:00 ~ 17:15

Opening Ceremony: 13:00 - 13:15

Recitation Division: 13:15 - 14:15

Speech Division: 14:30 - 16:00

Closing Ceremony: 16:30 - 17:15

* 応募人数により、多少の時間変更を行います。応募締切後に送付するプログラムのスケジュールが最終となります。

場所： 清泉女学院大学・清泉女学院短期大学（上野キャンパス） F301 教室

内容

第一部 《レシテーション・コンテスト》

- (1) 主催者から事前に与えられた以下の課題を暗唱する。
An Imagined Letter to an English World War I Soldier
- (2) 1 人 3 分程度

第二部 《スピーチ・コンテスト》

- (1) テーマ: 地球や地域社会のために将来やりたいこと
What I Would Like to Do in the Future for the Global and / or Local Society
※上記をタイトルにする必要はありません。
- (2) 1 人 4 分以内。4 分超過の場合は減点

※今年度のコンテストにおけるテーマ設定の理由

昨今の世界情勢や日常生活で感じた課題や問題を取り上げ、解決策や貢献方法、具体的な行動計画などを示し、その目標に向け自分がどのように成長すべきかを考え、表現する力の養成をねらいとしている。「思考力・判断力・表現力」

■ 応募資格： 高校生の男女（英語を母語としない者）

1 校 2 名以内（speech と recitation 合わせて 2 名以内）

※参加が 2 回目になる方は、前回と同じ部門には出場できません。

■ 応募方法：

コンテスト応募者は、清泉女学院大学・短期大学ホームページ (<http://www.seisen-jc.ac.jp>) の申し込みフォームより、必要事項を入力して送信する。

※ Speech 部門は、後日 Script を以下のアドレスに添付しメールで送信する。

清泉女学院 コンテスト係 (sjc-speechcontest@sjc-nagano.ac.jp)

■ 応募・送付締切：

「応募用紙」の送付	10 月 1 日（火）
・ Recitation の音声ファイル（応募者が多かった場合のみ）* ・ Speech の Script	10 月 29 日（火） ※厳守のこと

(* 「レシテーション」部門への応募者が 18 人を超える場合には、事前に「録音音声ファイル」による予選を実施。当日は、予選通過者による本選を行う。)

注意：参加生徒と引率の先生方は、この「実施要領」を読んだ上で、準備を始めてください。
 質問がある場合は、遠慮なく、清泉女学院 コンテスト係 (sjc-speechcontest@sjc-nagano.ac.jp) までお問い合わせください。

■ 表彰：

	Speech contest	Recitation contest
長野県知事賞	1位 1名 カップ・賞状／副賞(図書券)	1位 1名 カップ・賞状／副賞(図書券)
長野県教育委員会賞	2位 1名 盾・賞状／副賞(図書券)	2位 1名 盾・賞状／副賞(図書券)
信濃毎日新聞社賞	3位 1名 盾・賞状／副賞(図書券)	3位 1名 盾・賞状／副賞(図書券)

■ 審査基準：

(1) Recitation Contest

- ・所要時間は約3分。
- ・課題の原稿と暗唱が著しく異なる場合は、失格となる。
- ・原稿の持ち込みは可能とする。
- ・評価の観点と配点は下記の通り。

評 価 の 観 点	配点
理解と表現 (Interpretation & Expression)	40
発音 (Pronunciation)	40
暗唱 (Memorization)	20

(2) Speech Contest

- ・所要時間は、4分以内(厳守)。4分超過の場合は減点となる。
- ・予め提出した原稿とスピーチの内容が著しく異なる場合は、失格となる。
- ・原稿の持ち込みは可能とする。
- ・評価の観点と配点は下記の通り。

評 価 の 観 点	配点
内容と構成 (Contents & Organization)	40
発音 (Pronunciation)	20
スピーチと暗唱 (Expression, Delivery & Memorization)	40

■ ガイドライン/Speech guidelines:

目的：興味や関心がある社会的課題や問題を取り上げ、将来的に自分が地球または地域社会に対してどのような貢献をしたいか論理的かつ聞き手にわかりやすく表現し伝える。

対象：さまざまな国の方々が聴衆の対象となる国際的な英語スピーチ・コンテストを想定する。

内容：一貫性があり、かつオリジナリティのある内容にすること（具体的な解決策や貢献方法、行動計画などを含める）。

Purpose: Discuss how you can contribute to the global and / or local society in the future regarding a social issue that you are interested in. You will be judged on how well you communicate your ideas to the intended audience.

Audience: Imagine you are making a speech at an international conference with people from various countries who are interested in our future.

Content: Personalize this topic. You might talk about concrete solutions, how you will contribute, your plans of action, and how you will improve yourself.

【お問い合わせ】

〒381-0085 長野市上野 2-120-8 URL: <http://www.seisen-jc.ac.jp>

清泉女学院大学・清泉女学院短期大学 学生支援部内 英語コンテスト係

Tel: 026-295-1312 Mail: sjc-speechcontest@sjc-nagano.ac.jp